

先川信一郎さん講演会 組織からフリーへ ピースジャーナリズムを求めて

開催趣旨

先川信一郎さんは、北海道新聞で36年間記者・論説委員を務め、現在はフリーで活躍するジャーナリストです。2024年には戦争中のウクライナを現地取材し「週刊金曜日」にルポを連載しました。講演会では、道新記者からフリーのジャーナリストとなり、また市民団体のメディア・アンビシャスでも活動される先川さんをお招きし、ピース・ジャーナリズムやオルタナティブ・メディアについてウクライナでの現地取材を踏まえながらお話しいたします。

講師 先川信一郎

ジャーナリスト。高知市生まれ。北海道大学工学部応用物理学科卒。北海道新聞社会部、政治部、カイロ、ワシントン、北京支局長、論説委員などを歴任。イラク、シリア、イスラエル、アフリカ各国、中国、北朝鮮、南極、ウクライナなど世界91カ国・地域を取材した。高知工科大学特任教授を経て札幌市立大学非常勤講師(現在)。メディア・アンビシャス会員。著書に『ロウ管の歌：ある樺太流刑者の足跡』(道新選書、1987年)など。

日時

2025年5月14日(水) 18:15~19:45

場所

北海道大学メディア・コミュニケーション研究院
407会議室(札幌市北区北17条西8丁目メディア・
コミュニケーション研究院棟4階)

参加方法

対面のみ



主催：北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院
東アジアメディア研究センター
問い合わせ：玄武岩(gen@imc.hokudai.ac.jp)